

臨床研究「皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築と AI 活用診療支援システムの開発」について

筑波大学附属病院皮膚科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2000年1月1日から2018年5月31日までに当院で皮膚疾患の診断や治療を受けた患者さんです。

② 研究の意義・目的・方法

レントゲン写真やCT画像を人工知能（AI）により自動診断するシステムの開発が進んでおり、近い将来AIによる自動読影が可能となると考えられています。一方、皮膚科領域はテレダーマトロジーとも呼ばれる遠隔診断システムが民間業者によりすでに実用化していますが、これはAIではなく皮膚科医が写真や臨床情報を基に遠隔診断しているため、多くの症例を短時間に処理することはできません。

AIの開発には多量の皮膚病の写真が必要であることから、今回日本皮膚科学会が主導し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による研究費を財源とした皮膚病を集めた国家的なデータベースを作成する研究を開始しました。筑波大学はその中核施設となっており研究をおこないます。データベースは臨床写真、ダーモスコピー写真、病理組織写真、そしてそれらの症例に紐付けされた臨床情報が集積されます。

研究の中核となるナショナルデータベース構築のため、筑波大学附属病院皮膚科は当科で保管している皮膚疾患の写真をそのデータベースに提供することにしました。データベースには写真とその診断名、年齢、性別、診断根拠となった臨床情報、治療内容、そして転帰などの情報が紐付けされたデジタルデータとして保管されます。なお、提供前に個人を判別できる可能性のある写真（個人が特定可能な顔面全体の写真、特徴的な刺青や詳細な指紋など）を除外しますので、個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切提供しません。

データベースが完成したらその次の段階として、そのデータベースを使用して皮膚病の写真を使った診断補助システムの開発を行います。なお、データベースとして蓄積されている情報は既に個人情報削除された状態となっておりますので、利用に際してあなたの個人情報が流出する恐れはありません。

③ 研究機関名・研究者名

研究組織は以下の様になっております。

研究代表施設：筑波大学皮膚科・藤本 学

研究参加施設一覧：

1. 浜松医科大学 皮膚科 教授 戸倉 新樹
2. 東北大学 皮膚科 准教授 山崎 研志
3. 東京大学 皮膚科 教授 佐藤 伸一
4. 慶応義塾大学 皮膚科 教授 天谷 雅行
5. 東京女子医科大学 東医療センター 教授 田中 勝
6. 日本医科大学武蔵小杉病院 教授 安齋 眞一
7. 新潟大学 皮膚科 教授 阿部 理一郎
8. 山梨大学 皮膚科 教授 川村 龍吉
9. 信州大学 皮膚科 教授 奥山 隆平
10. 京都大学 皮膚科 教授 椛島 健治
11. 高知大学 皮膚科 教授 佐野 栄紀
12. 九州大学 皮膚科 教授 古江 増隆
13. 熊本大学 皮膚科 教授 尹 浩信
14. 琉球大学 皮膚科 教授 高橋 健造
15. 慶応義塾大学 医療政策・管理学 宮田 裕章
16. 東北大学 東北メディカルメガバンク機構 教授 長崎 正朗

④ 保有する個人情報に関する利用目的

上記②で説明したとおり、皮膚病の写真データベースを構築することが第一の目的で、その次にAI診断システムの開発を行いますが、個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切使用しません。AI診断システムの開発は③の研究施設の一部で行われ、その際に集積した情報の一部が研究施設に提供されます。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

ご本人の写真が使用されているかどうかについてお知りになりたい場合は下記の連絡先にご連絡ください。なお、既に写真が加工されて機械学習に使用されるなどした後は特定の写真を削除することが出来なくなりますのでご注意ください。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：皮膚科 藤澤 康弘

電話・FAX：029-853-3128（平日 10：00-17：00）